

# 阪神大震災

# 本堂全焼4,全壊39カ寺

## 被災236カ寺に及ぶ

## 豊原元総長ら寺族11人死亡

### 建設中の別院・センターは無事

一月十七日、午前五時四十分、突如発生した、兵庫県南部地震は、震度七を記録し神戸・西宮など大都市を襲い、死亡犠牲者が五千人を超え、さらに建物の倒壊が八万七千軒を超え、被災者は三十万人を超す大

惨事となり、教区内寺院・僧侶も同様に被害を受けた。教区内寺院の被害は二万三千六百六十九カ寺、本堂全焼四、全壊三十九カ寺、豊原元総長ら寺族十一人死亡にもあつた。地震当日、当教区教務所は宿直の職員（高藤昭文）一人のみで、安否が気掛かりであつたが、プレハブが幸いしたのか所内が氾濫したのみで建物には被害はなかつた。建設中の別院も無事であつた。しかし、電気・水道が止



本堂屋根の一部を残しすべて倒壊した神戸東組覚浄寺

# 号外

# HIO

教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所  
 〒650 神戸市中央区加納町 6丁目3番1号  
 (本願寺神戸別院内)  
 電話 神戸(078)393-5949(代)  
 (編集) 教区基盤委広報部

1995. 1. 30

ま、電話も受信のみとなり、通常の業務は不可能となつた。また、付近は救急車、消防車、パトカーのサイレン音とヘリコプターの発着音で騒然とした状況が続いた。その状況下深夜から生田警察の要請で遺体安置所として、二階本堂を提供した。職員は蠟燭やストロブを準備し、暗闇の中で待機し、一体一体毛布にくるまれて運ばれてくる遺体を狭い階段を上げることが困難である中、搬入の手助けをし、遺族の泣き叫ぶ中毛布を掛けたり、臨終動行を勧めたりして朝まで対応に追われ、十四人の遺体を安置することとなつた。

一方本山でも「災害対策臨時本部委員会」が設置され、教区と連携をとりながら情報収集や救済物資の搬入に務めた。物資の搬入については、交通の寸断でスムーズに運ばず、夕方や深夜に教務所に到着し、そこから積み降ろしから仕分けと大変な作業であったが、被災各組に対し組長へ向け十九日から本山部長・職員と共に御見舞いと状況の把握を兼ねて物資の搬送が開始された。しかし、往復に時間がかかり、阪神各組に出た班は軒並み午前0時をまわり、午前五時半に帰着する班もあった。その間、山陰・備後教区からも救済物資が到着しており、その後、東海・鹿児島・安芸教区や教区青年僧侶の会から救済物資が運ばれ、それぞれで指定避難所や避難所になっている寺院などへ救済活動にでた。

二十六日には姫路西組の本徳寺において、組長(被災組域はブロック長)・基

推委企画常任委員会合同会議が開催され、被災状況の報告と被災寺院・門徒への今後の支援方針について協議された。兵庫教区「阪神大震災」災害対策委員会が設置された。また、救済活動の実施については、①災害甚大と思える組を除いた組によって救済募金を行い募金目標額を一億円として、組

目録額を一億円として、組或いは門徒一戸当たりの割当額等の基準は設けず、募金収納額の使途については、行政へ委託し全被災者への救済資金にあてるものと当宗派内の寺院・門徒支援資金として募金を勧め、災害対策委員会に最終判断を委ねる②救済物資の搬入については、本部の所在の仮事務所が被災地の真ん中であり、またスペースの制約の中で対応となるため、搬入の前に必ず教務所へ照会の後、神戸着後、行政との連携並びに被災者への直接配布まで可能な時間的余裕をもって臨んでいただく③救済活動班編成については

被災寺院の要請に基づき、災害対策委員会の活動の一助として、埋没しているご本尊・仏具・遺骨等の掘り出しその他の救済活動に当たる④その他考えられる援助活動として、読経奉仕や兵庫女子短大学生の通学に便宜をはかるため、加古川・高砂・姫路地域でホームステイ可能な寺院の発掘、避難場所において生活するお年寄りへのボランティアは可能であろうとされた⑤また、平成七年二月末まで教区主催・関連組織主催の諸研修会・行事は取り止めることが決定された。

各組別の被災寺院の状況は次の通り。

【阪神東組】▽浄源寺(利國公之)内陣損壊・庫裏損傷▽安楽寺(加藤亮璋)本堂傾斜、後堂・庫裏屋根損壊▽称名寺(山田敬進)灯籠損壊▽玄徳寺(渡邊宏道代務)内陣損傷、庫裏半壊▽西教寺(乾惠隆)本堂半壊、内陣損壊、庫裏屋根損傷▽源正寺(西本章哉)本

堂屋根・内陣壁損壊、書院損傷▽西善寺(乾一雄)本堂亀裂、屋根損傷▽法専寺(井上一朗)本堂傾斜、庫裏一部損壊、山門傾斜▽来恩寺(斎藤蓮水)本堂屋根半壊、内陣損壊▽遍照寺(明井祥恭)本堂傾斜半壊、庫裏屋根損壊、鐘楼半壊▽福円寺(福本康二)本堂傾斜・屋根損壊、内陣損壊▽最光寺(杉本痴覚)本堂傾斜・内部損傷、鐘楼全壊▽吉祥寺(西村春久)内陣損傷、山門・鐘楼傾斜、灯籠倒壊▽安養寺(足利孝之)庫裏一部損傷▽祐光寺(小田周誠)庫裏屋根一部損傷、鐘楼全壊、山門損傷▽圓融寺(秦孝治)本堂傾斜・壁落

下、庫裏亀裂、塀倒壊▽明德寺(窪靖雄)本堂屋根損傷▽覚円寺(長澤弘之)本堂・庫裏損傷▽浄宗寺(松蔭興昌)本堂・庫裏損壊▽西蓮寺(山本彰一)本堂半壊▽浄圓寺(藤園良幸)内陣損傷、庫裏半壊▽西正寺(中平覚了)山門・鐘楼全壊▽専正寺(加藤亮璋代務)

本堂傾斜倒壊寸前▽専念寺(藤畑義朗)本堂屋根損傷、内陣損傷

【阪神南組】▽珠光寺(英丈夫)本堂・庫裏屋根一部崩壊、天井落下▽西法寺(岩田隆昭)本堂半壊、鐘楼全壊▽教専寺(騰瑞夢)本堂屋根一部損傷▽照蓮寺(杉本勝昭)本堂内陣損傷、鐘楼傾斜▽明専寺(藤本法城)塀倒壊▽称佛寺(吉本徹己)墓石倒壊▽長安寺(渡邊顕秀)本堂傾斜・庫裏屋根損傷、山門傾斜▽西教寺(生嶼俊興)本堂倒壊、山門・鐘楼全壊▽常念寺(瑞穂光信)本堂半壊、山門全壊▽浄善寺(梅園博道)本堂屋根損傷・壁亀裂▽浄元寺(宏林栄泰)本堂・内陣・庫裏損壊▽浄徳寺(廣岡憲雄)本堂屋根損壊、内陣破損▽蓮生寺(森尾真昭)内陣一部損傷▽常性寺(楠照真)本堂半壊▽西性寺(武内紹晃代務)庫裏損壊▽西要寺(堀祐真)本堂一部損傷、庫裏半壊▽弘誓寺(寺井紹龍代務)庫裏一部損傷、

山門・太鼓堂傾斜▽法輪寺(野口裕弘)本堂壁損壊

【阪神西組】▽報徳寺(光

森信貫)本堂傾斜・内陣損傷、庫裏傾斜、山門損壊▽万徳寺(谷川正秀)本堂・庫裏一部破損、山門・鐘楼全壊▽圓宗寺(藤井義宏)本堂屋根損壊、内陣天井落下、庫裏一部損傷▽万福寺(岩井宏守)本堂・庫裏半壊、山門全壊、灯籠倒壊▽萬照寺(森本信行)山門・鐘楼倒壊▽金衆寺(光森正士)本堂亀裂、庫裏屋根損傷、山門・鐘楼全壊▽廣宣寺(錦織美範)本堂一部破損、庫裏半壊、山門倒壊▽浄専寺(武内紹晃)庫裏損壊、鐘楼・山門倒壊▽源光寺(釋氏泰雄)本堂傾斜・

# 教区内寺院の被害全況 30日現在

・坊守・寺族(計三人)死亡、教蓮寺(梨尾哲順) 本堂・書庫裏倒壊、山門・鐘樓半壊▽院壁・塀壘裂、屋根一部被害、真光寺(崎本隆範) 寺族負傷、▽教行寺(中山英麿) 内陣損壊、内陣一部損傷▽正念寺(北條覺止) 内陣損傷、庫裏半壊、傷

【神戸東組】▽照差寺(杉本正義) 本堂・庫裏全壊▽赫光寺(杉本正幸) 本堂壁壘裂、納骨堂・客殿損壊▽常宣寺(光森常之) 本堂・庫裏・山門倒壊寸前、鐘樓全壊▽真光寺(楠木正導) 本堂壘裂、屋根損壊、庫裏損傷、内陣仏具損壊

【阪神北組】▽称名寺(小林義廣) 本堂一部損傷▽円行寺(左々木正史) 山門傾斜一部損傷、灯籠倒壊▽最徳寺(廣澤伴緒) 本堂一部損傷、山門傾斜、灯籠倒壊▽高原寺(村上高信) 本堂、塀一部損傷、勝福寺(後藤善成) 本堂壁損傷、太鼓樓・経蔵・山門半壊、灯籠倒壊▽淨福寺(石田教説) 本堂・庫裏屋根損傷、内陣破損、蔵損壊▽常念寺(葛野公明) 本堂、塀損傷、鐘樓半壊、灯籠倒壊▽覚正寺(末井義明) 内陣損傷、山門半壊、塀損壊▽願勝寺(寺川寛哉) 本堂屋根損傷、庫裏破損▽光圓寺(杉本光俊) 本堂一部損傷、境内地割れ▽毫根寺(山妻路路明) 本堂傾斜、庫裏・書院・塀損傷、山門全壊▽大林寺(木村秀隆) 内陣一部損傷▽源照寺(河原弘雄) 内陣一部損傷

【神戸中組】▽光徳寺(森本教明) 被雷霹靂、泉降寺(松阪隆昌) 被雷霹靂、信徳寺(市岡勝徳) 本堂損傷、内陣一部破損▽万法寺(寺田瑞應代務) 本堂兼庫裏一部損傷▽高法寺(志水紫朗) 本堂・庫裏全壊▽西方寺(本川智暁) 庫裏半壊▽照善寺(高橋徹俊) 本堂半壊▽意傳寺(秋原講教) 山門・塀倒壊▽正心寺(関重人) 本堂・庫裏倒壊寸前▽専称寺(豊原大丞) 本堂半壊、山門倒壊、鐘樓壘裂▽法専寺(丸橋一清) 本堂屋根損壊▽極楽寺(岡本幸信) 本堂・庫裏全壊▽徳本寺(津守秀昭) 本堂半壊▽光輪寺(山内憲英) 本堂全壊▽党念寺(杉田峻俊代務) 本堂半壊▽浄教寺(寺田瑞應) 本堂・庫裏全壊▽大仙寺(圓山俊一) 本堂屋根・山門・塀損傷▽光尊寺(廣瀬照晴) 山門・鐘樓屋根損傷、圓舎半壊▽正教寺(小川昌徳) 本堂半壊▽徳照寺(廣岡行信)

【神戸西組】▽浄行寺(中村信之) 本堂・庫裏一部損壊、庫裏傾斜、鐘樓倒壊、山門半壊▽真尊寺(鍋島俊樹) 本堂・庫裏一部破損▽萬法寺(海野晃昭代務) 庫裏一部損壊▽正念寺(増岡康示) 庫裏半壊、鐘樓・太鼓堂全壊▽普賢寺(北村顯昇) 本堂・庫裏全壊▽長善寺(平松周章) 本堂・庫裏半壊▽西正寺(建部淨信代務) 本堂・庫裏一部損壊▽勝光寺(中村康明) 庫裏一部損壊、塀倒壊▽光瑞寺(高坂省爾) 本堂・庫裏倒壊寸前▽善福寺(武宏文) 本堂・庫裏一部損壊▽正覚寺(菅原和勝) 本堂・庫裏倒壊寸前▽法泉寺(多村義之) 内陣損壊▽本誓寺(藤原英生) 前坊守死亡、本堂倒壊、庫裏全壊▽善海寺(阿部敬之) 本堂・庫裏全壊▽蓮生寺(石井弘宣) 本堂・庫裏全壊▽專照寺(藤本仁) 本堂・庫裏全焼▽寶球寺(鷲尾衛鳳) 本堂・庫裏全壊▽教信寺(山本政秀) 本堂・庫裏全壊▽安楽寺(藤本欣志) 本堂全壊・庫裏半壊▽佛心寺(池谷正信) 本堂一部損壊▽信行寺(米田睦雄) 本堂・庫裏全焼▽徳善寺(岡崎満利雄) 本堂・庫裏全焼▽順照寺(善本義孝) 親戚二人死亡、三人重傷、本堂全壊、庫裏半壊、山門全壊▽正覚寺(藤本英信) 本堂・庫裏一部損壊▽高松寺(谷川憲正) 本堂・庫裏半壊▽順正寺(山下寛裕) 本堂・庫裏一部損壊▽普通寺(和仁宏章代務) 庫裏半壊、園舎全壊▽現光寺(片岡御冬) 本堂全壊・庫裏半壊

【北摂組】▽廣宣寺(門中淨光) 本堂内陣一部損傷▽寶泉寺(平原充信) 本堂・庫裏傾斜

【神明組】▽養勝寺(鷲坂一俊) 内陣仏具損傷、庫裏一部損傷、鐘樓損壊▽覚正寺(藤田真宏) 本堂一部損傷、庫裏屋根損壊▽憲応寺(和仁孝章代務) 本堂屋根損傷▽真示寺(宮里哲秀) 本堂損傷▽慈照寺(藤田真哲) 庫裏屋根損壊▽徳願寺(清原尚之) 本堂内陣一部損傷▽光明寺(松本重信) 庫裏屋根損傷、本堂内一部損傷▽西照寺(藤井康亮) 本堂内壁一部損傷、庫裏一部損傷▽米光寺(赤松静恵) 本堂内壁破損▽金覚寺(大岡周賢) 本堂壁破損▽勝明寺(小山貫修) 本堂壁破損、庫裏一部損壊▽万宣寺(黒田晃順) 書院壁一部損傷▽金勝寺(大岡静覚) 本堂損傷、庫裏・太鼓堂・山門半壊▽正徳寺(廣橋岳登) 本堂屋根損傷、塀全壊、山門一部損傷▽安養寺(光森龍樹) 本堂・内陣一部損傷、山門・太鼓樓損傷▽西明寺(赤松尚之) 本堂屋根損傷

庫裏一部損傷▽専福寺(寺本正幸) 本堂一部損傷、庫裏一部損傷▽善福寺(藤本唯成) 本堂一部損傷▽満福寺(菊池彰真) 本堂屋根傾斜、内陣・庫裏損傷

【淡路組】▽円徳寺(厳見照) 本堂一部亀裂、庫裏屋根倒壊▽萬行寺(山本宣昭) 本堂傾斜半壊、庫裏別棟倒壊、鐘楼半壊▽宣勝寺(田近宣勝) 本堂・庫裏・鐘楼半壊、太鼓楼損壊、山門損壊▽専修寺(辻野尊照) 本堂一部損壊、庫裏屋根損壊、太鼓楼損壊▽浄光寺(梅林雅道) 本堂・庫裏損壊▽宣徳寺(藤榮行信) 山門損壊▽万寶寺(藤本教信) 本堂一部損傷▽真光寺(朝倉大潤) 本堂一部損傷・庫裏壁亀裂

【播磨東組】▽圓福寺(太田道雄) 庫裏壁亀裂、屋根損壊▽正念寺(丸岡徳昭代務) 本堂一部損壊、庫裏屋根損壊▽西入寺(木南昭隆) 本堂・庫裏半壊▽妙覚寺(森田智) 本堂・庫裏一部損傷▽正福寺(村上正文) 内陣仏具破損、壁亀裂▽西光寺(西本高信) 外堀傾斜

【加古川組】▽普光寺(近藤龍雲) 本堂一部損傷、石灯笼倒壊▽教泉寺(木村清史) 山門傾斜▽西福寺(山田和夫) 本堂・山門傾斜、

本堂壁崩落▽養福寺(石田哲雄) 本堂瓦落下▽教泉寺(橋本行正) 本堂壁崩落、庫裏・堀瓦一部落下▽教照寺(森本真悟) 本堂・鐘楼門・堀瓦一部落下、柱(廊下)破損▽円照寺(神光謙代務) 庫裏瓦落下▽南宗寺(月崎昭見) 本堂内部・壁一部破損、後堂瓦一部落下

【高砂組】▽福正寺(藤本隆信) 本堂壁損傷▽西蓮寺(福田慶哉) 本堂壁損傷▽教覚寺(別所龍徹) 本堂損傷▽覚正寺(大西信之) 本堂損傷▽玄長寺(佃雅南) 土塀破損▽善立寺(豊岡智俊) 本堂壁落下▽延寿寺(徳本義淳) 本堂一部損傷、鐘楼門亀裂▽真浄寺(井村智眼) 経堂破損▽明覚寺(藤井善之) 本堂・庫裏一部損傷、土塀損傷▽願正寺(曾根眞正) 本堂壁損傷▽西秀寺(暉純純之) 土塀損傷▽善行寺(網干堅一) 鐘楼損傷

【姫路南組】▽最勝寺(八木巧) 本堂・庫裏屋根傾斜▽妙覚寺(宗雷響) 庫裏損壊、山門傾斜

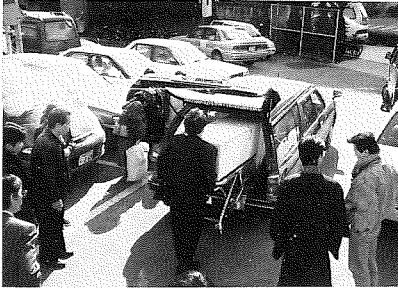
【姫路中組】▽法性寺(池本史朗) 本堂瓦一部落下

【姫路西組】▽本徳寺(大谷昭世) 経堂・大玄関・蓮如堂・堀瓦一部落下、その他被害箇所多数。

# 一斉に救援活動

## HOD誌

◆1月17日 阪神大震災発生。所内は本棚がほとんど倒れ足の踏み場のない状態。電気・水道が止まり、電話も受信のみとなる。所長が午前七時頃教務所に到着、センター建設現場へ、無事を確認。職員は市内に居住する職員の安否を確認するためバイクで走る。二人確認できず。深夜から遺体安置所になり十四体を安置



置所になり十四体を安置◆18日 午後三時頃電気が通じる。本山と連携して被災情報の収集をする。本山から救援物資が届く◆19日 被災組へ物資を午前中六班(神戸中組・神戸湊組・神戸西組三組・神明組)、午後から五班(神戸東組・阪神東組・阪神西組・阪神南組・阪神北組)に分けて搬出◆20日 午前0時前後山陰教区・備後教区・教区内寺院(共粟組西光寺・願寿寺、赤穂北組法林寺)からトラックやバンで救援物資が届く◆仮設事務所の横にブルーシートでテントをはり、物資の保管場所を設置。

◆1月17日 阪神大震災発生。所内は本棚がほとんど倒れ足の踏み場のない状態。電気・水道が止まり、電話も受信のみとなる。所長が午前七時頃教務所に到着、センター建設現場へ、無事を確認。職員は市内に居住する職員の安否を確認するためバイクで走る。二人確認できず。深夜から遺体安置所になり十四体を安置◆18日 午後三時頃電気が通じる。本山と連携して被災情報の収集をする。本山から救援物資が届く◆19日 被災組へ物資を午前中六班(神戸中組・神戸湊組・神戸西組三組・神明組)、午後から五班(神戸東組・阪神東組・阪神西組・阪神南組・阪神北組)に分けて搬出◆20日 午前0時前後山陰教区・備後教区・教区内寺院(共粟組西光寺・願寿寺、赤穂北組法林寺)からトラックやバンで救援物資が届く◆仮設事務所の横にブルーシートでテントをはり、物資の保管場所を設置。

鹿兒島教区から10トントラックが到着する予定で待機するが、新神戸駅の一階の救援物資センター止まりとなり、車三台で受取に行き再び救援物資を六班(阪神西組・阪神北組・神戸東組・神戸中組・神戸湊組・神戸西組)で搬出◆21日 本願寺堺別院より救援物資◆別院近隣へ教区内若手僧侶とともに物資搬出。神戸東組を中心に物資搬出◆22日 神戸西組の長田区中心、須磨区中心の二班に分け、東海教区や大阪教区からの物資を神戸湊組や山の手小学校へ搬出。神戸中組へ物資搬出◆22日、23日 神戸市の教区内寺院を一カ寺づつお見舞いと被災状況の把握◆24日 安芸教区より救援物資◆救援活動に神戸西組本誓寺、安楽寺、順照寺へ、青僧会◆共粟組願寿寺からカレの炊きだし◆25日 救援活動に神戸東組宝林寺、神戸中組浄教寺へ◆最後の遺体を搬出◆25日、30日 本山から被災寺院見舞救援班が出向◆26日 阪神大震災対策に関する組長寺へ。

義援金はここに

義援金受付窓口  
ご送付いただく場合は各関係機関においてできるだけぎりお取りまとめの上、現金書留または銀行振込・郵便振替にてお願いいたします。  
(送付先)  
〒650  
神戸市中央区加納町6-3-1  
兵庫教区災害対策本部  
(銀行振込)  
富士銀行神戸支店  
普通預金  
口座番号 1850245  
銀行振込をされた方は必ずハガキにて金額・住所・氏名を記入の上必ず「一報下さい。」  
(郵便振替)  
口座番号  
011401916231  
名義 兵庫教区教務所  
便振替の場合は摘要欄に「災害義援金」と明記ください。

教区新報1月号は休止